資料２－４－３

各施策の取組内容のレイアウト変更（案）

1　健康づくりの推進

施策１　健康づくりの支援

（１）現状と課題

健（検）診事業や個別の相談を通じて、疾病の特性や個人の生活習慣などを具体的に把握することで、自らの健康に関心を持つ市民が増え、健康づくりの意識は高まっています。また、口の健康や栄養についての関心も高く、生涯にわたり継続して取り組む必要があることから、日常生活における地道な取組が重要です。しかし、現状は健診受診後の保健指導の受診率は低く、生活習慣の改善に至っていません。病気にかかる前の一次予防に重点を置き、年代別の生活状況に合った取組の必要性についてさらに周知していく必要があります。

（２）めざす姿

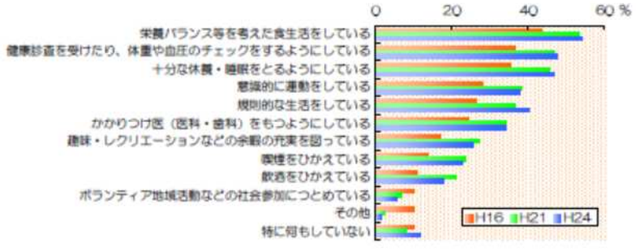
生活習慣病の予防、歯と口の健康づくりなど健康に関する正しい知識の普及が図られ、ライフステージに沿った適切な教育や支援を行うことにより、「自らの健康は自らがつくり守る」という認識が高まっています。また、心身に障害や健康上の課題を抱えていても生活の質が高く、いきいきと暮らしています。

（３）施策指標

●項目番号を追加する。

指標名（単位）	指標の説明	基準値	現状値	H33年度目標値
80歳で20本以上の自分の歯を有する人の割合（%）	8020運動といわれるものであり、80歳で20本以上の自分の歯を有する市民の増加を目指します。	63．6% （H23年度）	70．0% （H28年度）	75．0%
健診受診後の保健指導の応募率（%）	特定健診、成人健診の保健指導対象者のうち受講を希望する人の平均です。健診の結果に基づき必要に応じて専門スタッフによる保健指導を受ける市民の増加を目指します。	特定健診 27．9% 成人健診 25．8% ⇒平均26．9% （H23年度）	特定健診 28．0% 成人健診 29．0% ⇒平均28．5% （H28年度）	30．0%

健康のためや生活習慣病の予防のために気をつけていること（健康ふちゅう２１評価アンケートから）



●総合計画策定時の“基準値”のほか、直近の“現状値”を記載。後期計画の目標として“H33 年度目標値”を設定。
●指標については、前期計画のものを継承することを基本とし、新たな課題や取組に対応する指標を追加する。

（４）施策の方向性

・市民が、生涯にわたって自分や家族の心身の健康を維持・増進していくことの大切さを認識し、健康意識をさらに高めるため、環境整備や啓発活動を行います。

（５）主要な事務事業

事業名	H26～H29年度の取組
健康管理支援事業	・生活習慣病の予防、健康増進、健康に関する知識の普及などを目的に講座を実施します。 ・健康に関する個別の相談に常時応じられるように、保健師などの専門職を配置して、面接・電話による相談に応じます。 ・講演会や元気いっぱいサポーターの取組を通して、健康ふちゅう２１を推進します。

４か年の総事業費（主要な事務事業のみ）　０．８億円

●掲載位置を変更する。
●「協働で取り組むこと」を追加する。

市民に期待すること、協働で取り組むこと

・市民一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、健康づくりの意識を高める。年代別の生活状況に合った取組を、生涯にわたって継続する。
・市民・地域の自律的な健康づくり活動が活性化するよう、サークル活動などを市や地域の専門家（医療関係者等）がサポートする体制を整える。
・市、スポーツウェルネス事業者、医療関係者等の連携の場をつくり、市民の健康づくりへの意識啓発、継続的な健康増進活動の仕組みづくりを進める。

歯科検診